

けやき

医療の原点は思いやり

2024
MAY

25
vol.



特集

1 「未来を守るための災害対策」

2 「経験豊富な血液疾患診療センター」

未来を守るための災害対策

～能登半島地震支援を経験して～

2024年1月1日16時10分、石川県能登半島で、マグニチュード7.6(最大震度7)の地震が発生しました。磐田市立総合病院は発災直後の2日から、災害派遣医療チーム(DMAT)、災害リハビリテーション支援チーム(JRAT)の派遣や、日本看護協会の要請で看護師を派遣するなど、現地での支援活動に参加してきました。

被災者の支援を通じて、ふだんから、住民みずから「災害に備える」という姿勢の大切さが見えてきました。家族や近隣の人たちと一緒に、何ができるか考えてみてはいかがでしょうか。



救命救急センター長
DMAT医師

いちたに しんいち
一谷 真一

自身や家族の病気や服用薬、手術歴等の情報把握が重要

当院では1月2日にDMAT(災害派遣医療チーム)第一陣を、被災地に派遣しました。その後も各方面からの支援要請に応じて断続的に、計5回(25日間)の支援チームの派遣を行いました。

避難所支援の時に印象に残ったことは、避難してきた高齢者が今までかかってきた病気や飲んでいる薬を覚えておらず、また駆け付けた家族でさえも情報を持っていないことでした。災害が発生し、無事避難できても、健康な生活を送るには今までの情報が不可欠です。自身のこともそうですが、家族の情報も共有し、調べればわかるようにしておくことが重要だと感じました。

私も両親に確認し、親が飲んでいる薬や手術のことを初めて知りました。災害対策として、自分や家族の情報(病気、お薬、治療歴など)を確認し、記録しておくことをおすすめします。

災害用トイレの使用訓練など、平時からの備えが必要

1月に能登町調整本部、2月に石川スポーツセンター(1.5次避難所、介護老人保健施設相当仮施設)と2回に渡り、活動させていただきました。災害時はいろいろな組織が共同して支援を行いますが、組織図が周知されていなかったことにより、縦、横の統制がなかなかうまくとれなかったケースがありました。災害時には新しい組織が作られますが、組織図を早い段階で明確にし皆に周知すること、日ごろから顔の見える関係を構築することがとても大切だと思います。

今回の震災では断水によるトイレ問題がクローズアップされました。また、下水管が破損した際、水洗トイレを使用し続けることによる衛生上の問題もありました。災害用トイレを使用する訓練の必要性を感じています。災害時のトイレに関して平時から考えていくことが必要なのではないでしょうか。



副看護部長
DMAT看護師

たかはし みちこ
高橋 美千子



経営企画課
DMAT業務調整員

あべ ともえ
阿部 友恵

災害への意識を高めるため、地域や職場の防災訓練に参加を

DMATの業務調整員は、できるだけ多くの傷病者に医療を届けるために、現場の医療資源を有効活用するための情報収集などを行う、縁の下の力持ち的役割を担います。

能登半島地震での支援活動は、情報の収集・集約を中心とした本部活動を行いました。

災害時は、情報が混乱するだけでなく、自身も混乱し、命を守る避難行動ですら、どうしていいかわからない状況に陥ってしまうと予想されます。私たちDMATは訓練を繰り返し行いますが、今回の派遣でも、訓練で経験したことは落ち着いて活動に活かすことができました。

地域や職場の防災訓練へ参加することにより、災害に対する意識を高めることができます。いざという時に困らないよう、自分のために、家族のために、防災訓練に参加しましょう。



当院スタッフの現地での活動の様子



リハビリテーション科 医長
JRAT医師

あり もと なお と
有本 直人

避難生活が終わった後もできる限り自分らしく自立して生活できるように

JRAT(日本災害リハビリテーション(以下リハ)支援チーム)として、当院リハ科医師1名、理学療法士1名、言語聴覚士1名が静岡県内での病院リハチームとして最初に能登半島地震のリハ支援で活動してまいりました。避難生活では否応なく身体活動量は減りますので、他の支援チームと連携を密にして、集団体操や避難所環境調整など、現地の状況に合わせたアプローチをすることが重要なポイントでした。災害時は、災害関連死の予防に重きを置いてしまいますが、避難生活における活動量の低下が病状の悪化、身体機能の低下などを引き起こし、避難生活後の暮らしに影響を及ぼすということも念頭に置いておきましょう。平時から地域で集団体操を行う習慣があれば、平時、災害時共に役立ちます。

お薬手帳、ペースメーカー手帳、緊急連絡先は常に携帯して

私は日本看護協会から依頼を受け、1月26～31日まで石川県金沢市に災害支援ナースとして派遣されました。派遣先は、今回の震災で初めて設置された1.5次避難所でした。

生活基盤や大切な人を失ってしまった気持ちに寄り添いつつ、保健師・介護士・薬剤師・リハビリスタッフなど複数の職種の方々と協働して、健康を守り自立した生活が維持できるよう支援することが、私たちの役割でした。感染対策などを看護の視点から提案しつつ、行政や多職種の方との連携の大切さと難しさを実感した派遣活動でした。

避難生活において、自分自身の状態を知ってもらう情報は重要です。お薬手帳やペースメーカー手帳、緊急連絡先などはぜひ持ち歩くよう、皆さんにもお願いしたいと思います。



病棟看護師長

は せ が わ る り
長谷川 瑠理



経営企画課

みずたに もと のぶ
水谷 元信

簡易トイレの備蓄の必要性を痛感

石川県の穴水町で3日間、磐田市が派遣したトイレトラックの支援業務に従事してまいりました。ライフラインが寸断され水道やトイレが使えない中、トイレトラックは被災者をはじめ、応援に駆け付けている自治体職員の皆さまにも大変感謝されました。

感じたことは、食料の備蓄はある程度あっても簡易トイレまで備蓄されている方が少なかったことです。簡易トイレの備蓄も必要であると痛感しました。被災地の復興にはこれから先長い時間がかかることと思います。今後とも被災された皆様の生活再建のために、微力ではありますが取り組んでいきたいと考えています。

経験豊富な血液疾患診療センター

～中東遠地域の新患シェア率75%超～



血液疾患診療センターのメンバー

血液疾患の

基幹病院としての実績

血液内科は血液の異常によって起きる全身疾患を診療しています。血液のがん(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など)をはじめとして、貧血や血小板減少症など血液の病気全般を幅広く診療しており、ほぼ全ての疾患の治療が可能です。2024年4月現在、3名の常勤医師(うち指導医1名・専門医2名)で外来、入院診療をしています。

当院は中東遠地域(人口約46万人)で、唯一の日本血液学会認定専門研修認定施設です。当院で診療する血液疾患の新規患者数は、2016年度には201人でしたが、2021年度には548人(約2.7倍)に増加し、中東遠医療圏でのシェア率は76.2%となっています。症例数は静岡県内有数で、効果の高い治療も積極的に取り入れています。血液疾患の基幹病院としての役割を果たしており、経験豊富な当院血液内科に安心して受診して頂きたいと思えます。

外来化学療法センターとも連携

専門性の高い血液疾患の治療をチーム医療で提供しており、2023年10月、血液疾患診療センターを立ち上げました。センターは、血液内科医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、臨床検査技師、歯科衛生士、理学療法士、管理栄養士、公認心理士、医療ソーシャルワーカーで構成しています。月に2回、チームメンバーによるカンファレンスを行い、情報共有と問題点や疑問点の解決の場となっています。これまでより多職種連携を強固にして診療にあたっています。

2024年4月より血液疾患診療センターは、外来化学療法センターとも連携し、血液疾患、抗がん剤治療の専門家が診療にあたっています。治療内容だけでなく、医療費や就労並びに心理的支援をカバーできる多職種連携によるチーム医療によって、当地域の血液疾患診療に貢献できていると自負しています。これからも「チーム血液内科」で診療にあたります。



血液内科部長 兼 血液疾患診療センター長 兼 外来化学療法センター長

ふかつ ゆうすけ
深津 有佑

自家末梢血幹細胞移植について

おおよそ65歳以下(主治医の判断により69歳まで)の多発性骨髄腫、再発難治性悪性リンパ腫の患者さんを対象に、年間10例程度、自家末梢血幹細胞移植を行っています。治療の際、白血球の数が大きく減少し抵抗力が低下しますので、無菌室で治療を行います。

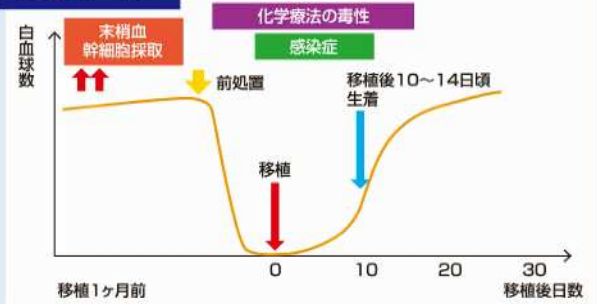
あらかじめ患者さんの造血幹細胞(血液のもとになる細胞)を採取し、後で移植するために保存します。次に、前処置として大量の抗がん剤を投与することで、がん細胞を死滅させます。その後、がん細胞も造血幹細胞もなく空っぽになった骨髄の中に、採取しておいた造血幹細胞を移植することで、正常な白血球を増やしていく仕組みです。後から造血幹細胞移植をすることで、大量の抗がん剤の投与が可能になるわけです。

血液疾患診療センターのメンバーが情報を共有し、連携することで安全で安心な移植治療を提供しています。

自家末梢血幹細胞移植



自家移植の流れ



磐田市立総合病院 血液内科 HPより

主なチーム構成と役割

メンバー	役割
血液内科医師	主治医が診療を担当します。治療方針は毎週行うカンファレンスで決定します。週に1回科長が回診を行います。
看護師	患者さんに耳を傾け寄り添う看護をしています。血液疾患、抗がん剤のエキスパートとして指導も行います。
薬剤師	病棟専任の薬剤師が1名おり、抗がん剤や支持療法の薬剤指導を行います。外来化学療法薬剤師は外来治療に移行した患者の継続指導を行います。
理学療法士	治療期間が長期になることが多いので、患者さんの体力の維持向上のためにリハビリをしています。
臨床検査技師	幹細胞の処理、保存、管理を担当しています。骨髄検査のレポート作成を医師と共にしています。
臨床工学技士	幹細胞採取に必要な機器の設定の役目を担っています。
歯科衛生士	治療中の感染症予防のために口腔ケアを担当します。
管理栄養士	栄養面から患者さんをサポートします。免疫不全食について指導を担当します。
公認心理士	心理的ケアを担当します。治療中の悩みや苦痛を和らげる手助けをします。



患者さんに寄り添い看護を行います

自家末梢血幹細胞処理の様子

ベッドサイドでリハビリを行っている様子

末梢血造血幹細胞採取機のセッティング

New Face



新しい仲間が加わりました

磐田市立総合病院へようこそ!

臨床研修医18名、看護師34名、薬剤師2名、
臨床検査技師2名、臨床工学技士1名、理学療法士1名、社会福祉士1名、事務職員8名



「医療の原点は思いやり」の理念を実践できる職員となれるよう、日々頑張っていきます。



研修医

なかむら さとし
中村 聡志

【趣味】バレーボール、溪流釣り、キャンプ
【好きな言葉】当たり前を丁寧に

【今後の抱負】中東遠地域における医療の中核を担う本院で働くことを光栄に感じるとともに、身の引き締まる思いです。優秀なスタッフが集う本院で、いち早く市民の皆様へ安心安全で思いやりのある医療を提供できるよう、日々努めて行く所存です。



看護師

さとう なみか
佐藤 菜未加

【趣味】楽器演奏
【好きな言葉】感謝

【今後の抱負】思いやりの心を持ち、患者さんやご家族に寄り添い続けることのできる看護師を目指します。正しい知識・技術を身に付け、多職種と連携しながら看護師として地域医療に貢献できるよう努めていきます。



理学療法士

いわした そうた
岩下 草太

【趣味】サッカー、温泉
【好きな言葉】隣人愛

【今後の抱負】周りの人から信頼され、安心して業務や患者さんを任されるような理学療法士を目指します。そのためには、日々自己研鑽に励み、技術的な面で成長していくことは勿論のこと、挨拶などの礼節や5S活動の徹底にも尽力していきたいと考えています。



臨床工学技士

ひの なおや
日野 直哉

【趣味】バドミントン
【好きな言葉】一生懸命

【今後の抱負】一日でも早く一人前の臨床工学技士になるために、積極的に行動し学びたいと思います。また、医療機器のスペシャリストとしてチーム医療に貢献できるように一生懸命取り組んでいきます。宜しくお願いします。



薬剤師

みやき りこ
宮木 理子

【趣味】旅行、映画鑑賞
【好きな言葉】継続は力なり

【今後の抱負】患者さんやご家族の方が安心して薬物治療に向き合えるよう、高い専門と幅広い知識を兼ね備えた薬剤師になりたいです。そのため、日々の自己研鑽に励むと共に患者さんへの思いやりを忘れず、良い信頼関係を築けるよう努めます。



臨床検査技師

さわだ 空
澤田 空

【趣味】温泉、コーヒー
【好きな言葉】信頼

【今後の抱負】地域の健康を支える一員として、病院に来られる方々に安心していただけるような医療の提供を目指します。日々の気づきや学びを大切に、確かな知識や技術を身につけて、信頼される臨床検査技師になれるよう努力します。

院内日記

磐田市立総合病院ニュース

令和5年度の業務改善・5S活動コンテストの表彰式開催!

3月11日(月)に、業務改善・5S活動コンテストの表彰式が行われました。

令和5年度は、業務改善部門に25チーム、5S部門に44チームの報告があり、それぞれ7チームずつが選ばれ発表会が開催されました。発表会后、会を聴講した職員の投票により各賞が決まりました!

業務改善部門の最優秀賞は事務部の「給与明細の電子送付の拡充」、5S活動部門の最優秀賞は「手術センター」の取り組みでした。

今年は、看護師や医療技術職だけでなく事務職スタッフの活躍が多く見られました。受賞された各チームの皆さん、おめでとうございます!

業務改善と5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)活動は当院の文化であり、組織全体の成長に繋がる重要な活動として定着しています。



未来に向かって羽ばたく研修医!

3月8日(金)に初期臨床研修修了式を行い、15名の初期研修医が鈴木事業管理者と山崎病院長より一人ひとりに激励の言葉とともに証書と金メダルが手渡されました。

この日を迎えることができたのは、指導医やスタッフだけでなく、患者さんやそのご家族からの多くの支えがあったおかげです。

医師として様々なことを経験し、数多くの方々との出会いに恵まれたことは、とても大きな財産になったと思います。

今の晴れやかな気持ちを忘れずに、各々の与えられた場所で、患者さんやそのご家族を笑顔にできる医師になることを祈念しています!



iwatagram

職員の特技や趣味を紹介します

きのりか 木野 莉佳 事務員

学生時代にバレーボールをしていました。今でもリーグ等があると後輩の応援に行っています。

♡👁📌

#バレー #現役時代 #選手ではなく
#マネージャー #練習には付き合います



総量 (1人前あたり)

エネルギー	31kcal	たんぱく質	3.0g
脂質	0.4g	炭水化物	5.0g
食物繊維量	2.5g	食塩相当量	1.1g

材料(4人分)

・ゆで筍	1つ
・中華だしの素	大さじ1
・醤油	小さじ1
・ラー油	適量



たけのこの皮り辛煮

作り方

- ① 筍を短冊切りにする。
- ② 鍋に水と中華だしの素、しょうゆを入れ煮立たせる。
- ③ ①の筍を入れ、汁気がなくなるまで煮る。
- ④ 火を止め、ラー油を回しかけ、軽く混ぜる。



当院管理栄養士

辛いのが苦手な方はラー油ではなくごま油を入れてもおいしいです。ラー油の辛味で減塩ができます。



病院からの
お知らせ

磐田市立総合病院で一緒に働きませんか?新規採用職員を募集します

・募集職種・人数 ①薬剤師 6人 ②診療放射線技師 1人 ③臨床工学技士 1人 ④理学療法士 1人 ⑤作業療法士 1人
⑥事務職員(システム管理業務経験者) 1人

・試験日 令和6年7月6日(土)

・採用開始日 令和7年4月1日から ※⑥事務職員については、応相談

応募方法等詳細は、下記URLもしくは専用QRコードよりご確認ください。

<https://www.hospital.iwata.shizuoka.jp/recruit/>

専用QRコード▶



磐田市立総合病院

〒438-8550 静岡県磐田市大久保512番地3

TEL:0538-38-5000 FAX:0538-38-5050

<https://www.hospital.iwata.shizuoka.jp>



過去の「けやき」
はこちら



インスタグラム
はこちら



フェイスブック
はこちら